

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら真岡熊倉教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月22日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して通うことが出来るアットホームな雰囲気を作ることが出来ている。	・職員の入れ替わりもなく長年勤めている職員もいる為、安心感がある。 ・職員も子どもと同じ目線に立って支援し、遊ぶ時は全力で遊ぶことが出来ている。 ・何かが起こった際には、きつく伝えるのではなく、子どもの思いを汲み取りながら理解できるよう声掛けすることを意識し取り組んでいる。	・宿題や課題などのやるべきことは、その日の疲れ等に合わせて自己選択が出来よう尊重したり、自由時間では、他者と関わりながら自分がしたい遊びを選択できるよう働きかけたりと支援をしている。
2	職員が意見を出し合い、子ども一人ひとりにあった支援プログラムを組むことが出来ている。	・モニタリングや相談等で保護者の要望を聞き、支援プログラムを組むことが出来ている。 ・職員一人ひとり、子どもの見方が違うため、日頃の姿を共有し合いながら支援プログラムに取り組んでいる。	・日々、子どもたちと関わる中で出来るようになったところ、成長したところなどを見つけて次のステップに進めるよう取り組んでいる。
3	レクリエーションの種類が豊富にあるため、年齢問わず楽しめる内容になっている。	・今年は、レクリエーションの種類を増やし、固定化しないよう行うことが出来ている。 ・その日の利用児童の年齢や出来ることに合わせてレクリエーションのルールを変え、全員が楽しめるように取り組んでいる。	・集中力の向上や運動機能の向上など、目的に合わせてレクリエーションを考え、行うことを意識している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	下校時間が様々な為、公園に行く時間が無い、レクリエーションの時間が短くなる日がある。	・高学年が多くなったことにより下校時刻が遅くなっていることや、学年や学校が違うため下校時刻にバラつきがある。 ・車の乗車人数も限られている為、送迎が繋がられないことがある。	・社用車の追加検討。 ・短時間でも満足度の高いレクリエーションの考案。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、保護者への周知が不十分。	・どのように周知したらよいかを模索していなかった。	・他事業所の周知の仕方を参考にしていきながら、模索していきたい。
3	父母の会や保護者会など開催がなく、保護者同士の交流を持てなかった。	・お仕事をされている保護者様の負担になってしまうのではと考えたため。	・保護者様の希望があった場合、開催を検討していく。その為にも他事業所の取り組みなど、情報収集に努めたい。